

平成17年(2005年)度事業報告書及び決算報告書

I 事業報告書

1 理事会

○ 第57回

開催日 2005年5月14日(土)
出席理事 13人 書面表決者12人 計25人
出席監事 1人
議決事項 1. 平成16年(2004年)度事業報告及び収支決算報告
2. 評議員の補選

○ 第58回

開催日 2006年3月25日(土)
出席理事 13人 書面表決者14人 計27人
議決事項 1. 平成18年(2006年)度事業計画及び収支予算
2. 平成17年(2005年)度予算の補正
3. 任期満了に伴う評議員の改選
4. 改選に伴う理事長・常務理事・顧問の選任及び常務理事の職務執行順位について

○ 理事懇談会

開催日 2005年12月28日(水)
出席者数 理事8人 監事1人 計9人
内容 指定管理者制度への移行について
来年度の動員について
今年度の寄贈報告
資料の帰属問題

2 評議員会

○ 第48回

開催日 2005年5月14日(土)
出席評議員 22人 委任38人 計60人
議決事項 1. 平成16年(2004年)度事業報告及び収支決算報告
2. 理事の補選

○ 第49回

開催日 2006年3月25日(土)
出席評議員 18人 委任41人 計59人
議決事項 1. 平成18年(2006年)度事業計画及び収支予算
2. 平成17年(2005年)度予算の補正
3. 任期満了に伴う役員の改選

3 受託事業

(1) 文学資料の収集・整理・保存および公開

○ 資料委員会

期日 2005年11月3日(木)

出席委員 岡松和夫、笈楨二、紀田順一郎、清原康正、宮坂覺

(書面回答：上笙一郎)

議題

1. 今後の資料課事業計画案について

特別資料データもすべてOPAC上で検索可能となることを受け、
今後はデジタル画像化などを通じ資料内容の紹介が必要となっ
てくる。その一環として2007年度から準備予定の中島敦文庫目
録について、DVDによる画像収録目録を製作刊行する。

2. その他

今年度資料の収集状況とともに、電算未登録資料の再計算の結
果、所蔵資料点数がすでに100万点を超えたことなどを報告。

○ 寄贈

寄贈者 1,025名(大野玲子氏、大久保昭雄氏、神西敦子氏、片岡静氏、西條八
束氏、尾崎恵子氏、岩波書店、角川書店、講談社、嶋中書店、集英社、小学館、
新潮社、筑摩書房、中央公論新社、文藝春秋ほか)

図 書	6,725冊
雑 誌	7,155冊
特別資料	11,600件
計	25,480冊(件)

○ 購入

図 書	609冊
雑 誌	1,208冊
特別資料	24件
計	1,841冊(件)

○ 所蔵状況

図 書	404,962冊
雑 誌	416,738冊
特別資料	153,668件
登録資料小計	975,368冊(件)
未登録資料	約65,000冊(件)

計 約1,040,000冊(件) *登録資料はすべて閲覧が可能です。

寄託資料 9人 3,321件

○ 電算入力	(2005年度)	(累計)	
函書	18,747冊	392,218冊	(登録資料の96.9%)
雑誌	12,516冊	408,535冊	(登録資料の98.0%、タイトル18,485誌)
特別資料	21,044件	135,785件	(登録資料の88.4%)
計	52,307冊(件)	936,538冊(件)	

*登録資料のうち、電算未入力分は手書き台帳による登録。

○ 整理済点数	(2005年度)	(累計)	
函書	10,007冊	106,915冊	(登録資料の26.4%)
雑誌	12,516冊	408,535冊	(登録資料の98.0%)
特別資料	3,785点	83,219点	(登録資料の54.2%)
計	26,308点	598,669点	

- 雑誌内容書誌入力
287誌15,336冊について、雑誌各冊データの内容書誌を入力しました。
(累計：40,364冊)
- 閲覧室の利用状況
 - ◇利用者数 3,533人(開室日数 278日 一日平均 12.7人)
 - ◇レファレンス件数 292件
 - ◇複写サービス 896件 36,223枚
- 文庫目録第15集『藤田圭雄文庫目録(特別資料)』(B5判 本文68頁 500部)を刊行し関係者に配布しました。
- 特別資料の利用
 - ◇資料の閲覧 140件 2,620点
 - ◇資料の貸出 16件 447点
(鎌倉文学館「文学都市かまくら100人展」ほか類似施設の特別展など)
 - ◇写真の撮影 21件 208点
 - ◇写真の貸出 100件 429点
- 特別資料データのネット公開
昨年度検索可能になった原稿、印刷物、複製資料に加え書画、写真、遺品等がインターネット上で検索可能となりました(以後順次公開の予定です)。
特別資料検索利用登録者 179人

(2) 展覧会の開催

- 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第2部－芥川龍之介から中島敦まで
会期・日数 4月1日(木)～4月17日(日) 15日
編集委員 富岡幸一郎(以後常設展同)

観覧者数 835人(1日平均55.7人)

*会期は2月19日(土)から

- 特別展「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティックヒストリー」
三島由紀夫の生涯と作品を、山中湖文学の森・三島由紀夫文学館所蔵の資料を核として、近年発見された数多くの新資料も加えて、編年体で総合的に紹介しました。手引き資料として図録(B5判 64頁)を製作し、関係者に配布しました。

会期・日数 4月23日(土)～ 6月5日(日) 37日(4月22日(金)に内覧会を開催)

共催 山中湖文学の森・三島由紀夫文学館

後援 新潮社 NHK横浜放送局 神奈川新聞社 t v k

協賛 神奈川近代文学館を支援する経営者の会

編集委員 佐伯彰一

編集協力 井上隆史、佐藤秀明

観覧者数 15,028人(1日平均406.2人)

- 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第3部ー太宰治、三島由紀夫から現代まで

会期・日数 6月11日(土)～ 7月31日(日) 42日

観覧者数 2,207人(1日平均52.5人)

- 企画展「没後60年 島木健作展」

会期・日数 8月6日(土)～ 9月25日(日) 43日

観覧者数 2,110人(1日平均49.1人)

*同時開催 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第1部ー夏目漱石から萩原朔太郎まで

- 特別展「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞ」

北原白秋生誕120年、西條八十没後35年という、日本童謡史における節目の年にあたり、雑誌「赤い鳥」誕生に始まる童謡の黄金時代を築きあげた神奈川ゆかりの詩人・北原白秋と西條八十、まど・みちお、金子みすゞの4人の詩人を中心に日本の童謡の世界を紹介しました。あわせて、白秋、八十とともに近代童謡界を三分し、今年没後60年を迎える詩人・野口雨情の業績を紹介するとともに、山田耕筰、成田為三、本居長世、中山晋平、團伊玖磨ら童謡の代表的な作曲家たちにもスポットをあてました。手引き資料として図録(B5判 64頁)を製作し、関係者に配布しました。

会期・日数 10月1日(土)～ 11月13日(日) 37日(9月30日(金)に内覧会を開催)

共催 朝日新聞社 神奈川新聞社

後援 社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY) 日本童謡協会

NHK横浜放送局 t v k

協賛 神奈川近代文学館を支援する経営者の会

協力 金子みすゞ著作保存会・同顕彰会 JULA出版局

編集委員 上笙一郎、三木卓
観覧者数 8,663人(1日平均234.1人)

- 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第2部－芥川龍之介から中島敦まで
会期・日数 11月19日(土)～1月15日(日) 41日
観覧者数 1,819人(1日平均44.4人)
- 企画展「生誕100年 伊藤信吉展」
会期・日数 1月21日(土)～3月5日(日) 38日
共催 群馬県立土屋文明記念文学館
観覧者数 1,655人(1日平均43.6人)
*同時開催 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第3部－太宰治、三島由紀夫から現代まで
- 新収蔵資料展
会期・日数 3月11日(土)～3月31日(金) 17日
観覧者数 896人(1日平均52.7人)
*同時開催 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第1部－夏目漱石から萩原朔太郎まで 会期は4月16日(日)まで
[平成17年4月1日～平成18年3月31日 合計観覧者 33,213人(一日平均123人)]

(3) 資料の複製

- 常設展示候補および館蔵資料の中から複製7件11点を作製しました。

<作製資料>

夏目漱石 野村傳四宛書簡、夏目漱石 離縁後の一札、泉鏡花「婦系図」第88(後篇26)原稿、三島由紀夫「潮騒」原稿冒頭、三島由紀夫「金閣寺」原稿冒頭、堀辰雄 中里恒子宛書簡、川端康成 中里恒子宛書簡

(4) ビデオの製作

- 特別展「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティックヒストリー」の開催に合わせたビデオ「三島由紀夫と『午後の曳航』」(監修：井上隆史 17分)を製作しました。

4 自主事業

(1) 啓発広報事業

- 機関紙の発行

機関紙「神奈川近代文学館」第88号から第91号を4、7、10月、平成18年1月に発行しました。

(2) 講演会・講座の開催(会場：ホール)

- 「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティックヒストリー」講座

- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数, モーター会場 |
|----------|------|-----------------|--------------|
| 5月8日(日) | 島田雅彦 | 「多面体・三島由紀夫」 | 224人, 33人 |
| 5月15日(日) | 辻井喬 | 「三島由紀夫と私」 | 236人, 26人 |
| 5月22日(日) | 高橋睦郎 | 「小説家三島由紀夫の死の意味」 | 223人, 20人 |
| 5月29日(日) | 猪瀬直樹 | 「三島由紀夫という作家」 | 228人, 40人 |
- 「私の本について話そう」
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|----------|------|--------------|------|
| 6月25日(土) | 山崎洋子 | 『ヴィーナス★ゴールド』 | 92人 |
- 島木健作展講演会
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|----------|--------------|--------------------------------|------|
| 8月13日(土) | 永井路子
新保祐司 | 「わたしと鎌倉そして島木健作」
「島木健作・北方の魂」 | 170人 |
- 「私の本について話そう」
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|------------|-----|------------|------|
| 9月23日(金・祝) | 辻原登 | 『枯葉の中の青い炎』 | 123人 |
- 「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞ」講演会
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|-------------|-----|---------------|------|
| 10月10日(月・祝) | 三木卓 | 「白秋、八十、雨情の童謡」 | 165人 |
- 「童謡のつどい」
- | 期日 | 出演 | 入場者数 |
|-----------|----------------------------------------------|------|
| 10月16日(日) | 鈴木すず(第1部：お話)
フェリス女学院大学大学院生(第2部：童謡ミニコンサート) | 200人 |
- 「私の本について話そう」
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|-----------|------|-----------------|------|
| 10月29日(土) | 矢崎節夫 | 『童謡詩人 金子みすゞの生涯』 | 214人 |
- 「私の本について話そう」
- | 期日 | 講師 | 演題 | 入場者数 |
|----------|----|---------|------|
| 12月4日(日) | 林望 | 『帰宅の時代』 | 136人 |
- 伊藤信吉展講演会(共催：横浜詩人会)
- | 期日 | 講演・対談 | 演題 | 入場者数 |
|-------------------|------------------------|-------------------------------|------|
| 平成18年
2月12日(日) | 暮尾淳・千早耿一郎
龍沢友子(詩朗読) | 伊藤信吉と横浜
－『現代詩の鑑賞』と『詩のふるさと』 | 79人 |

(3) 朗読会の開催

- 春の朗読会 神奈川近代文学館「三島由紀夫展」記念
(共催：(財)はまぎん産業文化振興財団 会場：はまぎんホールヴィアマーレ)

期日	朗読者	作品名	入場者数
4月30日(土)	岸田今日子	三島由紀夫「海と夕焼」 「橋づくし」「女方」	494人

- 文芸朗読会(会場：ホール)

期日	朗読者	作品名	入場者数
平成18年2月25日	永井一郎	開高健「日本三文オペラ」	104人

(4) 展示説明会の開催(会場：中会議室)

- 「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティックヒストリー」展示説明会

期日	解説者	入場者数
5月7日(土)	展示担当者	41人
5月21日(土)	〃	36人

- 「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞ」展示説明会

期日	解説者	入場者数
10月15日(土)	展示担当者	13人
11月6日(日)	〃	45人

(5) 展覧会図録の頒布

- 特別展の手引き、資料として下記の図録を刊行し、希望者に頒布しました。
「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティックヒストリー」
(B5判 本文64頁 4,000部 頒価900円)
「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞ」
(B5判 本文64頁 2,500部 頒価900円)

(6) 文庫目録の頒布

- 文庫目録第15集『藤田圭雄文庫目録〈特別資料〉』(B5判 本文68頁 500部 頒価700円)を刊行し希望者に頒布しました。

(7) 映画会の開催(会場：ホール)

- ビデオ上映会(会場：中会議室)

期日	上映作品	入場者数
8月6日(土)	「被爆とわたくし」 (林京子講演・インタビュー記録ビデオ)	7人

(8) 神奈川近代文学館友の会

- 会員に、機関紙の無料配布、展覧会への招待、文学講座等への優待を行いました。

会員1052人(うち 家族会員：92人 新規：325人)

- 友の会の会員の集いを開きました。(会場：ホール)

期日	講話	参加人数
----	----	------

6月5日(日)	藤田三男	52人
---------	------	-----

- 文学散歩－近隣施設や県内外の文学ゆかりの地を訪ねました。

◇山中湖文学の森公園文学散歩

コース：山中湖文学の森公園(三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館、風生館見学)

期日	参加人数
----	------

5月18日(水)	42人
----------	-----

5月27日(金)	45人
----------	-----

◇中区の博物館訪問－山手西洋館と横浜山手・テニス発祥記念館

コース：エリスマン邸～ペーリック・ホール～横浜山手・テニス発祥記念館
～外交官の家

期日	参加人数
----	------

6月16日(水)	27人
----------	-----

6月17日(木)	27人
----------	-----

◇小田原童謡文学散歩－秋の城下町に白秋のたどった道を訪ねる

コース：小田原文学館・白秋童謡館～西海子小路～御幸の浜～小田原市郷土文化館分館 松永記念館～伝肇寺(白秋旧居・木兎の家跡)～荻窪用水「めだかの学校」文学碑

期日	参加人数
----	------

11月2日(水)	43人
----------	-----

11月6日(日)	31人
----------	-----

- 文学講座－ゆかりの文学についての講座を開きました。

◇夏の文学講座(会場：ホール)

期日	講師	演題	参加人数
----	----	----	------

8月20日(土)	千早耿一郎	『戦艦大和ノ最期』と吉田満	70人
----------	-------	---------------	-----

(9) 神奈川近代文学館を^{サポート}する経営者の会

会員数102人(115口)

- 特別展への協賛

- 紹介状等により会員を募り、会員に特別展等の広報協力を呼びかけました。

- 「神奈川近代文学館を^{サポート}する経営者の会」総会・懇親会

期日	会場	出席者
5月14日(土)	ポートヒル横浜	会員：10人 理事・評議員：17人

(10) 文学展の制作・提供

- 夏目漱石展[パッケージ販売]の制作・提供(共同制作：日本近代文学館)

◇鎌倉文学館

会期 4月29日(金)～7月3日(日)

◇群馬県立土屋文明記念文学館

会期 10月15日(土)～11月27日(日)

(11) 博物館実習の実施

- 各大学から博物館実習生を受け入れました。

7月26日～7月31日の6日間 7大学 9人

(12) インターンシップの実施

- 各大学からインターンシップ実習生を受け入れました。

7月26日～8月6日の10日間 1大学 1人

8月30日～9月1日の3日間 1大学 1人

(13) 子ども向け行事

- ミュージアム・クイズ・ラリー -YOKOHAMA2005

県立歴史博物館など中区・西区内の16館で協力して夏休みの子ども向け企画として開催しました。

期間	参加来館者
----	-------

7月16日(土)～8月31日(水) 59人

- かなぶんキッズクラブ「夏休み子ども映画会」(会場：ホール)

期日	上映作品	入場者数
----	------	------

7月28日(木)	「ムーミン-おじさんは手品師-」	81人
----------	------------------	-----

「どんぐりと山猫」

7月29日(金)	「くまのプーさん イーヨのおたんじょう日」	74人
----------	-----------------------	-----

「ルパン対ホームズ」

7月30日(土)	「母をたずねて三千里」	58人
----------	-------------	-----

- かなぶんキッズクラブ「絵本であそぼ！」(会場：中会議室)

期日	出演	作品名	入場者数
----	----	-----	------

8月27日(土)	よこはま文庫の会	「どうぶつむらの汽車」ほか	59人
----------	----------	---------------	-----

- かなぶんキッズクラブ「紙芝居がはじまるよ！」(会場：中会議室)

期日	出演	作品名	入場者数
----	----	-----	------

平成18年1月9日(月・祝)	山下康氏	「りゅうの目のなみだ」ほか	62人
----------------	------	---------------	-----

(14) 文字・活字文化の日記念行事

- 10月27日(木)当日に限り観覧料を無料にし、展示館開館時間を1時間延長しました。
- 展示説明会(会場：展示館1階エントランスホール)
「野口雨情と横浜」 来場 37人
- バックヤード見学
参加：1回目=9人、2回目=7人
- 閲覧室貴重本展示
会期 10月27日(木)～11月3日(木・祝)
内容 ヘボン編著『和英語林集成』、「The Illustrated London News」
(絵入りロンドンニュース)、武田交来『倭洋妾横浜美談』など
明治開化期の貴重書
- プレゼント抽選
展示観覧者を対象に「日本の童謡」展などの図録、ミュージアムグッズを抽選で
プレゼントしました。

(15) 閲覧室ミニ展示

- 特集・「クリスマス」の本
会期 2005年11月5日(木)～12月27日(火)
- 特集・「犬」の本
会期 2006年1月5日(木)～2月26日(日)
- 特集・「桜」をめぐって
会期 2006年3月1日(水)～3月30日(木)
*会期は4月27日(木)まで

5 その他の事業

会議室の利用状況(3月31日現在)

会議室名	利用回数	利用人数	<利用回数の内訳>	
小会議室	245回	2,402人	講演会、読書会等	49回
中会議室	127回	3,253人	俳句会、短歌会等	136回
和室	100回	965人	その他(文学関係)	38回
ホール	57回	7,121人	その他	306回
計	529回	13,741人		

6 他館等への後援・協力

(1) 共催

- 文芸映画を観る会

共催 文芸映画を観る会

◇第1回：「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティックヒストリー」記念

期日	上映作品	入場(2回上映)
5月4日(水)	「炎上」(原作：三島由紀夫)	224人, 169人
5月5日(木・祝)	”	249人, 64人

◇第2回：「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第3部 記念

期日	上映作品	入場者数
7月23日(土)	「錆びたナイフ」(原作：石原慎太郎)	86人
7月24日(日)	”	78人

◇第3回：「日本の童謡 白秋、八十一そしてまど・みちおと金子みすゞ」記念

期日	上映作品	入場者数
10月8日(土)	「みすゞ」	139人
10月9日(日)	”	106人

◇第4回：「文学の森へ 神奈川と作家たち」展 第2部 記念

期日	上映作品	入場者数
18年1月7日(土)	「稲妻」(原作：林芙美子)	197人
1月8日(日)	”	118人

(2) 後援事業

○ 第1回全作家文芸講演会

主催	全作家協会
期日	10月1日(土)
講演	大河内昭爾
会場	神奈川近代文学館 ホール

○ かながわシニアフェスタ「第1回シニア短歌大会」

主催	かながわ長寿社会開発センター 神奈川県
期日	10月29日(土)
会場	横浜情報文化センター

(3) 協力

○ 全国文学館協議会発足10周年記念出版『全国文学館ガイド』

編者	全国文学館協議会
発行所	小学館

○ 全国文学館協議会発足10周年記念講演会

主催	全国文学館協議会
期日	10月29日(土)
会場	よみうりホール
講演	井上ひさし、瀬戸内寂聴
シンポジウム	今橋映子、加藤幸子、篠弘、中村稔

- 平成17年度「子ども読書活動推進フォーラム」
 - 主催 神奈川県子ども読書活動推進会議 神奈川県教育委員会
 - 期日 10月29日(土)
 - 会場 神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター

7 役員等に関する事項

(1) 顧問に関する事項(平成18年3月31日現在)

- 顧問数
4人
- 顧問名簿
阿川 弘之 庄野 潤三 中田 宏 松沢 成文

(2) 役員に関する事項(平成18年3月31日現在)

- 役員数

理事長	1人	常務理事	4人
理事	26人	監事	3人
- 役員名簿
 - (理事長)
安西 篤子
 - (常務理事)
紀田順一郎 三木 卓 岡松 和夫 山田 宗睦
 - (理事)
井上ひさし 大岡 信 大庭みな子 荻野アンナ
尾崎左永子 加藤 種男 上 笙一郎 川本 三郎
清原 康正 黒井 千次 小泉浩一郎 紅野 敏郎
佐江 衆一 早乙女 貢 島田 雅彦 城山 三郎
司 修 富岡幸一郎 鳥居 邦朗 馬場あき子
林 京子 二見 研一 三浦 朱門 水木 初彦
三好 徹
 - (監事)
竹口 秀夫 永峰 潤 松崎鉄之介

(3) 評議員に関する事項(平成18年3月31日現在)

- 評議員数
81人
- 評議員名簿

青野 聰	赤瀬川 隼	赤塚 行雄	新井 満
荒俣 宏	伊井 直行	飯塚 容	石井 茂
伊豆 利彦	井上 弘	入沢 康夫	内田四方蔵
江森 國友	遠藤 祐	太田 治子	大屋 幸世
尾形 仵	筧 楨二	笠原 淳	加島 祥造

勝又 浩	禿 慶子	川添 猛	河竹登志夫
川端香男里	川村 湊	北方 謙三	木村尚三郎
倉 和男	郷 静子	紅野 謙介	小島 直記
小玉 晃一	小山 文雄	三枝 昂之	櫻田 満
佐藤さとる	佐藤 宗子	篠原 あや	清水 基吉
志村 有弘	新保 祐司	鈴木 健次	鈴木 恒夫
高木 博	鷹羽 狩行	高橋 治	滝藤 満義
千葉 俊二	辻原 登	津田 信治	槌田 満文
十川 信介	長崎源之助	長島 三芳	縄田 一男
南原 幹雄	新倉 俊一	西川杏太郎	畑 有三
春名 徹	日高 昭二	福田 美鈴	富士川義之
藤沢 周	古屋 健三	牧内 良平	黛 まどか
水原 紫苑	宮坂 覺	諸角せつ子	八木 幹夫
山崎 洋子	山中 恒	山梨 俊夫	山本 道子
吉田 大成	吉田 秀和	米原 万里	林 淑 美
涌田 佑			

(4) 顧問・役員・評議員の異動に関する事項

○ 役員の変更

就 任			退 任		
理 事	荻野アンナ	17.4. 1	理 事	田代 球喜	17.3.31
”	島田 雅彦	17.4. 1			
”	二見 研一	17.5.14			

○ 監事の異動

就 任			退 任		
監 事	永峰 潤	17.4. 1	監 事	橋本正俊	17.3.31

○ 評議員の異動

就 任			退 任		
評議員	荒俣 宏	17.5.14	評議員	荻野アンナ	17.3.31
”	伊井 直行	17.5.14	”	島田 雅彦	17.3.31
”	北方 謙三	17.5.14	”	河野 誠	17.5.13
”	三枝 昂之	17.5.14			
”	千葉 俊二	17.5.14			
”	津田 信治	17.5.14			
”	水原 紫苑	17.5.14			
”	米原 万里	17.5.14			

Ⅱ 決 算 報 告 書

1 収 支 計 算 書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日

(1) 収入の部

(単位 円)

大 科 目	中 科 目	予 算 額	補正予算額	合 計	決 算 額	差 異 (合計-決算額)	備 考
基 本 収 入		1,160,000	0	1,160,000	1,051,355	108,645	
	基本財産運用収入	1,160,000	0	1,160,000	1,051,355	108,645	
管理受託収入		158,558,000	0	158,558,000	158,290,733	267,267	
	文学館管理受託収入	158,103,000	0	158,103,000	158,057,288	45,712	財団本部分光熱水費等戻入額 5,959 円含む
	立 替 金 収 入	455,000	0	455,000	233,445	221,555	喫茶室光熱費立替分
事 業 収 入		271,041,000	2,780,000	273,821,000	273,899,223	△ 78,223	
	受 託 事 業 収 入	258,285,000	0	258,285,000	258,265,289	19,711	
	事 業 収 入	12,756,000	2,780,000	15,536,000	15,633,934	△ 97,934	補正は図録等販売、友の会会費、講演会等受講料、資料複写貸出等、企画編集の各収入の増
事業外収入		15,301,000	2,070,000	17,371,000	17,352,671	18,329	
	補 助 金 収 入	13,691,000	0	13,691,000	13,691,000	0	
	雑 収 入	1,210,000	1,050,000	2,260,000	2,264,210	△ 4,210	補正は経営者の会会費収入、委託販売手数料等の増
	寄 付 金 収 入	0	1,020,000	1,020,000	1,020,000	0	補正は寄付金収入の増
	著 作 権 料 収 入	400,000	0	400,000	377,461	22,539	
特定預金取崩収入	退職給与引当預金取崩収入	6,709,000	0	6,709,000	6,709,000	0	
当 期 収 入 合 計 (A)		452,769,000	4,850,000	457,619,000	457,302,982	316,018	
前期繰越収支差額		8,155	0	8,155	8,155	0	
	前期繰越収支差額	8,155	0	8,155	8,155	0	
収 入 合 計 (B)		452,777,155	4,850,000	457,627,155	457,311,137	316,018	

(2) 支出の部

(単位 円)

大 科 目	中 科 目	予 算 額	補正予算額	流 用 額	合 計	決 算 額	差 異 (合計-決算額)	備 考
管 理 費		20,368,000	1,600,000	0	21,968,000	21,962,050	5,950	
	報 酬	1,680,000	0	0	1,680,000	1,680,000	0	
	人 件 費	15,670,000	0	0	15,670,000	15,668,198	1,802	給与改定による戻入額 1,709 円 含む
	会 議 費	1,299,000	100,000	△ 55,000	1,344,000	1,343,352	648	
	事 務 費	1,719,000	1,500,000	55,000	3,274,000	3,270,500	3,500	財団本部分光熱水費等戻入額 5,959 円含む/補正は法人税等の増
事 業 費		8,449,000	2,230,000	0	10,679,000	10,677,856	1,144	
	刊 行 物 出 版 費	6,024,000	1,590,000	△ 161,700	7,452,300	7,451,693	607	補正は通信運搬費、消耗品費、 諸謝金の増
	講 演 会 等 開 催 費	2,425,000	640,000	161,700	3,226,700	3,226,163	537	補正は消耗品費、印刷製本費の 増
文学館維持管理費		158,558,000	0	0	158,558,000	158,290,733	267,267	
	人 件 費	25,926,000	0	0	25,926,000	25,922,401	3,599	給与改定による戻入額 3,055 円 含む
	租 税 公 課	1,423,000	0	△ 48,000	1,375,000	1,359,540	15,460	
	事 務 費	2,157,000	0	292,000	2,449,000	2,446,883	2,117	
	維 持 費	106,577,000	0	△ 99,500	106,477,500	106,232,084	245,416	
	資料管理電算化事業費	22,475,000	0	△ 144,500	22,330,500	22,329,825	675	
受託事業費		264,994,000	0	0	264,994,000	264,974,289	19,711	
	人 件 費	218,988,000	0	0	218,988,000	218,969,549	18,451	給与改定による戻入額 18,069 円 含む
	租 税 公 課	9,960,000	0	△ 190,500	9,769,500	9,769,497	3	
	資料調査・収集・整理費	2,412,000	0	190,000	2,602,000	2,601,345	655	
	展 示 費	23,134,000	0	500	23,134,500	23,133,928	572	
	資料等整備費	10,500,000	0	0	10,500,000	10,499,970	30	
特定預金支出		400,000	1,020,000	0	1,420,000	1,397,936	22,064	広津和郎、桃子著作権料
	広津基金預金支出	400,000	1,020,000	0	1,420,000	1,397,936	22,064	補正は広津基金預金支出の増
支 出 合 計 (C)		452,769,000	4,850,000	0	457,619,000	457,302,864	316,136	
当期収支差額 (A) - (C)		0			0	118		
次期繰越収支差額 (B) - (C)		8,155			8,155	8,273		

2 正味財産増減計算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

(単位 円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	118	
退職給与引当預金増加額	7,104,600	
広津基金預金増加額	1,397,936	8,502,654
2 負債減少額		
退職給与引当金取崩額	6,709,000	6,709,000
増加額合計		15,211,654
II 減少の部		
1 資産減少額		
退職給与引当預金取崩額	6,709,000	6,709,000
2 負債増加額		
退職給与引当金繰入額	7,104,600	7,104,600
減少額合計		13,813,600
当期正味財産増加額		1,398,054
前期繰越正味財産額		65,517,210
期末正味財産合計額		66,915,264

3 貸借対照表

平成18年3月31日現在

(単位 円)

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 流動資産	36,392,182	1 流動負債	36,383,909
(1) 現金預金	36,047,372	(1) 未払費用	1,680,080
小口現金	86,341	(2) 未払金	29,754,213
普通預金	35,097,683	(3) 預り金	2,910,296
定期預金	850,000	(4) 前受金	2,039,320
投資信託	13,348		
(2) 前払金	344,810		
2 固定資産	135,506,791	2 固定負債	68,599,800
(1) 基本財産	58,000,000	退職給与引当金	68,599,800
定期預金	1,150,000		
神奈川県債	36,850,000		
横浜市債	20,000,000		
(2) その他の固定資産	77,506,791		
退職給与引当預金	68,599,800		
広津基金預金	8,906,991		
		3 正味財産	66,915,264
		(うち基本金)	58,000,000
		(うち当期正味財産増加額)	1,398,054
合 計	171,898,973	合 計	171,898,973

4 財 産 目 録

平成 18 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額	
(資産の部)			
1 流動資産			
(1) 現金預金		36,047,372	
小口現金		86,341	
普通預金	三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店	22,170,860	
	横浜銀行 県庁支店	6,133,640	
	三菱UFJ信託銀行 神奈川営業部	6,733,182	
	三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店	60,001	
定期預金	三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店	850,000	
MMF	みずほインバースターズ証券 横浜支店	8,577	
中国ファンド	大和証券 横浜支店	3,939	
フリーフィナンシャルファンド	日興コマーシャル証券 横浜駅前支店	832	
(2) 前払金	郵便振替加入者負担、期間建運送保険等	344,810	
流動資産計			36,392,182
2 固定資産			
(1) 基本財産		58,000,000	
定期預金	横浜銀行 県庁支店	1,000,000	
	三菱UFJ信託銀行 神奈川営業部	150,000	
公債	神奈川県債	36,850,000	
	横浜市債	20,000,000	
(2) その他の固定資産		77,506,791	
退職給与引当預金		68,599,800	
(普通預金)	三菱東京UFJ銀行 横浜中央支店	37,390,169	
	三菱UFJ信託銀行 神奈川営業部	10,180,511	
(公債)	神奈川県債	3,000,000	
	横浜市債	2,000,000	
(MMF)	みずほインバースターズ証券横浜支店	3,152,920	
(中国ファンド)	大和証券 横浜支店	2,876,200	
(フリーフィナンシャルファンド)	日興コマーシャル証券 横浜駅前支店	10,000,000	
広津基金預金		8,906,991	
(普通預金)	三菱UFJ信託銀行 神奈川営業部	5,090,982	
(MMF)	野村証券 川崎支店	3,816,009	
固定資産計			135,506,791
資産合計			171,898,973

(単位 円)

科 目	摘 要	金 額	
(負債の部)			
1 流動負債			
(1) 未払費用	管理事務費等未払額	1,680,080	
(2) 未払金	受託管理費、事業費未払額	29,754,213	
(3) 預り金	3月分社会保険料ほか	2,910,296	
(4) 前受金	次年度友の会会費ほか	2,039,320	
流動負債計			36,383,909
2 固定負債			
(1) 退職給与引当金	退職給与引当金	68,599,800	
固定負債計			68,599,800
負債合計			104,983,709
正味財産			66,915,264

5 計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
投資有価証券…総平均法による原価基準を採用しています。
- (2) 退職給与引当金について
自己都合による期末退職給与の要支給額に相当する金額を目安として計上していません。
- (3) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払費用、未払金、預り金及び前受金を含めることにしています。
なお、前期末及び当期末残高は、注記3に記載のとおりです。

2 基本財産の増減及び、その残高は次のとおりです。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	58,000,000	0	0	58,000,000
合計(基本金)	58,000,000	0	0	58,000,000

3 次期繰越収支差額の内容は次のとおりです。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	10,967,354	36,047,372
未収金	0	0
立替金	0	0
前払金	291,007	344,810
合計	11,258,361	36,392,182
未払費用	1,265,773	1,680,080
未払金	4,742,773	29,754,213
預り金	2,847,940	2,910,296
前受金	2,393,720	2,039,320
合計	11,250,206	36,383,909
次期繰越収支差額	8,155	8,273